

## B. 施設調査の問題点、および、今後の方向性

### 1) 調査対象店

#### 〈調査協力依頼と承諾率〉

東京 依頼店舗：10 軒 協力承諾店：10 軒

関西 依頼店舗：10 軒 (現在交渉中)

東京では、調査員が店との信頼関係を確立していたため調査協力を得ることができた。一方、関西では、直接の信頼関係がうすい店が多く、調査協力を断られる場合があった。昨年度調査協力の承諾が得られた店で、調査自体への批判的・懐疑的な意見が出た。関東の調査協力店舗のうち、調査紙配布後に突然閉店した店舗があった。

### 2) 調査紙回収 (中間報告：関東での調査結果のみ)

#### 〈対象者〉

総数：95 名 (回収率 38.0%)

関東：95 名 (配布数 250 部、回収率 38.0%)

性別：女性

#### 〈回収率について〉

店舗によって、回収率に著しい差がみられた (これは昨年度にもみられた傾向である)。今回協力の得られた 9 店舗 (調査紙配布後閉店した 1 店舗を除く) の回収率はそれぞれ、0% (4 店舗)、5.0% (1 店舗)、46.7%、76.7%、93.3%、96.7%であった。各店舗には、配布後、何回かにわたって回答者に回答を促す旨をお願いしたが、それでも回収率は上がらなかった。これには、普段の店舗側と SW 側との関係などが関連していると思われるが、より回収率をあげるための方法については検討が必要である。

#### 〈回答者属性〉

年齢 : 24.7±3.3 才 (19-33)

勤務月数 (現在いる店) : 12.3±12.1 カ月 (0.5-48)

勤務日数 : 15.8±4.5 日/月 (4-25)

勤務時間 : 7.1±1.0 時間/日 (3.5-10)

接客人数 : 4.7±1.7 人/日 (2-12)

客一人あたりの接客時間 : 50.0±5.5 分/人 (30-65)

これらから、平均的な勤務状況を推算すると、月に 74.3 人の接客をしていることになる。

## C. [調査紙回答結果]

### 1) 知識調査 (図 2)

昨年度の結果と同じく、一般集団女性 (17-39 才) との比較 (データ：行動科学 I、1999 年 6-7 月実施、全国一般集団調査より) と比較すると、全ての質問でセックスワーカー (SW) 群の正解率が一般集団女性を上回った。

一方、「性感染症にかかっていると、エイズウイルスに感染しやすい」(正解率 30.5%)、「治療薬の進歩で、エイズウイルスに感染してから発病するまでの期間を遅らせることができるようになった」(44.7%)、「保健所では、名前を言わずに無料でエイズ検査ができる」(59.1%)など、昨年度にひきつづき正解率が低い項目があり、正確な STD/HIV 感染経路や治療に関する情報提供の必要性が示唆される。

昨年度と比較すると、「性感染症に感染すると、常に症状がでる」(昨年度 62.3%→本年度 90.3%)、「通常のエイズ検査では、感染後数日たてば感染しているかどうか分かる」(同 44.3%→69.5%)など、正解率が向上した項目もある。また、「治療薬の進歩で、エイズウイルスに感染してから発病するまでの期間を遅らせることができるようになった」(同 54.8%→44.7%)、「口を使ったセックスで、性器から口に STD が感染する可能性がある」(同 82.0%→71.6%)など、昨年度から正解率が下がった項目もある。

### 2) コンドーム使用状況と希望

#### 〈サービス内容と頻度〉(図 3)

フェラチオは、すべての人が「必ずする」「だいたいする」と答えた。半分以上の頻度で行われているサービスで、回答者の半数以上が行っていたものは、クニニリングス、ディープキス、膣への指入れ、口内発射、アナルなめ、スマタであった。顔射、肛門ペニス性交は、膣ペニス性交は、ほとんど、もし

くはまったく行われていなかった。

\*顔射、肛門ペニス性交に関しては、その店特有のサービスとしている店舗があり、そこで主に行われている。今回の対象店舗は、店舗側によりコンドームなしでサービスすることが決められている。

#### 〈コンドーム・膜状のバリア使用状況〉(図4)

これらのサービスにおける、コンドーム(または膜状のバリア)使用状況を調べた。フェラチオでの使用はすべての人が「あまりしない」「まったくしない」と回答し、ほとんど使用していない(できていない)状況であることがわかった。人数は少ないが、肛門ペニス性交での使用率は100%であった。その他のサービスでのコンドーム使用状況は「まったくつけない」がもっとも多く、いずれもコンドーム使用率は低かった。

#### 〈コンドーム・膜状のバリア使用の希望〉(図5)

各サービスについて、コンドームなどの使用希望を調べた。希望はどのサービスでも高く、半数以上の回答が「必ずつけたい」「できればつけたい」だった。一方で、「あまりつけたくない」「まったくつけたくない」という、使用に否定的な解答もみられた。また、「どちらでもない」と解答した人も一定数みられた。実際にはコンドームや膜状のバリアが使用できていない状況だが、使用への希望は高いことがわかる。一方で、「どちらでもない」という解答や、「つけたくない」という否定的な解答も一定数あり、予防介入を考える際に考慮に入れる必要がある。

#### 〈フェラチオでコンドームを使わない(使えない) / 使う理由〉(図6、図7)

ヘルスの主なサービスであるフェラチオについて、コンドームを使う場合、使わない場合のそれぞれの理由を聞いた。使わない理由としては、「店のサービスとして決められているから」が昨年度より増え92.6%、次が「ペニスをたたせたり、いかせやすいから」29.8%、「客が望むから」25.5%だった(図6)。一方、「フェラチオではSTDにならない」は1.1%、

「STD 予防をしている」は2.1%と低く、間違った認識からコンドームを使用しないというSWは少ないことがわかる。つまり、性感染症予防の実践を阻害している要因として、知識の欠如ではなく、店や客からの要請が大きいことがわかる。

フェラチオでコンドームを使用する理由は、「客が望むから」66.0%、「病気をもっていきそうな客だから」46.0%、「性感染症の予防がしたいから」40.0%の回答が多かった(図7)。今回の調査対象となった店舗のほとんどは、コンドームを使用しないサービスが基本であるが、客の性器の外見などからSTD感染がうたがわれる場合には、コンドームの使用が認められるところが多い。今回の結果は、この点を反映していると考えられる。

#### 〈性感染症予防方法〉(図8)

個々人が行っているSTD予防方法は、昨年度とほぼ同じく、「ペニスをよく洗う」「うがいをする」「性器が傷つくような強いプレイをさせない」「ペニスをよく観察する」「ペニスを口に含んだら唾液を吐き出す」「手をよく洗う」「膣の洗浄をよくする」が多く、半数以上が行っていた。一方で、「仕事の前後に歯磨きをする」28.4%などの間違った方法を行っている人や、「病気を持っていそうな客にはコンドームを使う」43.2%(自由記述; 痛み、外傷、発疹、イボがある人、イソジンやグリンスがしみる人、真性包茎の人、など)などの不確かな方法を行っている人もいた。昨年度と同じく、「特に何もしていない」に回答した人はいなかったことから、各人がSTD予防に意識的であることがうかがえるが、一方で、実際の接客時に行える具体的で正しいSTD予防法の情報浸透が十分でないこともわかる。このような情報は一般にあまりでまわっていないことから、具体的かつ正確な情報提供が必要であることが示唆される。

### 3) 効果的なコンドームの使用交渉例

本年度は、新たにコンドームを使いたがらない客への対応についての質問項目を増やした。「コンドームを使いたがらない客に対して、あなたはどのよ

うに対応していますか？」という質問に対し、95人中40人(42.1%)が回答した。自由記述の内訳は、〈実践している方法〉について：27人(67.5%)、実際にはコンドームは使っていないが〈使うとしたらどういう方法で行うか〉：2人(5.0%)、〈使えないことについての記述〉：11人(27.5%)であった。

〈実践している方法〉〈使うとしたらどういう方法で行うか〉は、大きく分けると、客に対しての言い方や雰囲気作り、客にわからないように(もしくははもめないうちに)コンドームをつける技術の2つにわかれる。言い方には、口内炎や歯医者を理由にするもの、症状のある性器にゴムをつける言い方、自分が性感染症に感染している可能性を言う、などがあった。多くは「店の決まり」であることや、説明しても拒否された場合は、店側に言うことがあげられていた。これらは、コンドームの着用で店側が果たす役割の大きさを示していると言える。

〈使えないことについての記述〉の中には、「ゴムありの方が安心です」という回答から、「使わない方がやりやすい」という回答までさまざまな回答があった。店の決まりでコンドームは使えない、という記述が多く、店側のコンドーム使用に対する決定権の大きさを示している。

#### \*具体例(抜粋)\*

##### 〈実践している方法〉

口で自然につけちゃう／わからないうちにつけてしまう。一応謝って了承をもらう／今日歯医者行ったからゴムつけさせてネと…／私のお店は生のサービスだけ、性病のうたがいがある場合はつけないとダメなの、ごめんね。あなたはいいかもしれないけど、私達にうつるとすぐに発病とかしないし、症状がでないから、次のお客さんにうつっちゃう可能性があるから、つけさせてネ。あんまりイヤだったらお店に言ってください／ムードづくり。胸などをせめながら先っぽに少しコンドームを付け、あとは口でかおせる／女の子から言えばたいていつけてくれる(ホーケイの人とか)／病気が心配と言う。女の子側にうつるのが心配と言うより、お客さんにうつしたら…という言い方をすればだいたいOKです。フェラの時に口でつける／お互いに安心するでしょ、私たちも人間

だから／キスをしながらつける／ゴムを見せずにフェラチオする時にこっそりつける。しないとフェラチオしない／「お互いの明るい未来(明日)の為に」とか言ってくる／基本的にサービスは生なのですが、病気っぽい人と真性包茎の人は、コンドームを使います。カドがたたないようにやさしく、だけど、はっきり理由を言います。それでもイヤがる人は、料金を返すからといって帰ってもらいます／決まりだからと言う！！いやなムードにならないように笑顔で対応する／口内炎になっているから、とか、自分がどうのと言い訳をして使用する／病気っぽい人には必ずつけて、しかもフェラなし。次回来なくてもいいし、病気の客はいらない。「つけるね、ごめんね」しか言わない／つけなければ変わってもいい。口内炎がひどいから／はっきり理由を話す。それで納得しなければ、ボーイに連絡をしてボーイの口から説明してもらう。

##### 〈使うとしたらどういう方法で行うか〉

お店自体にコンドームが置かれていないので実際は分からないけれどお店で決まってるから とかで良いのでは？／使わないけれど…。かわいい雰囲気をお願いします。この方がお互い病気にもならないし…みたいな。でも男って、たとうつされてもいいんでしょうか…。こういうお店でうつることって多いのに。なんてチャレンジャー。

##### 〈使えないことについての記述〉

コンドームは店の方針で使いません／このお店はゴム置いてないから、それにダメみたいです。前のお店ではフェラはほとんどしてなかったのでゴムは必要なかったのでわかりません／あまり、コンドームを使用する機会がないのでわかりません／みんなが病気の知識を持ち、こわいと思えるようになれば、コンドーム使用が当たり前となると思う！！／うちの店はゴムなしです。ゴムありの方が安心です／店がまずコンドームを使うとはならないから、お客が望まないと思わない／お店でコンドームを使わないように(基本的に)言われているので仕方がない／使わないからわかりません。使わない方がやりやすい。

#### 4) STD 検査(図9~図11)

過去1年間のSTD検査、および、STDの定期検査を受けているかどうかを調査した。過去1年間に、STD検査を受けた人は77.9%と、受けていない人22.1%を上回った(図9)。STDの定期検査は、受け

ている人は 56.7%、受けていない人 43.3%だった(図 10)。店が検査料を負担しているわけではないことを考えると、コストのかかる定期検査を受ける人の数が多いとも言える。受けていない理由は、昨年度と同じく「症状が出た時だけ行く」「いい病院がわからない」が多く、STD 予防の啓蒙とともに、医療機関の紹介などの必要性が示唆された(図 11)。

#### 5) 希望されている予防介入(図 12~図 15)

HIV/STD について欲しい情報は、いずれも希望が高かった(図 12)。特に「STD 予防方法」「STD の症状と治療法」は半数以上が希望しており、具体的な HIV/STD の予防方法や、症状、治療法などの情報が求められている。また、STD 相談窓口の情報も欲しいと解答した人も 25.0%と多かったが、セックスワーカー固有の問題に対応できる電話相談窓口はほとんどないことから、今後の設立などを検討する必要がある。

実際に情報を入手しているのは、「雑誌」がもっとも多く 61.5%、続いて、テレビ 52.7%、病院 42.9%となっている(図 13)。性風俗で働いている(いた)友達 35.2%や、店の同僚 28.6%)が多くあげられていることから、ピア・エデュケーションの可能性が示唆される。また、医療機関を含め、正しい情報源の広報の強化と、より広範囲での情報発信、無料匿名検査を含む保健所で受けられるサービスの認知も重要な課題といえる。

今後の希望として、情報を得るのに便利な方法は

「雑誌」71.9%、テレビ 51.7%が多かった(図 14)。昨年度とことなる本年度の特徴としては、インターネットをあげた人が 38.2%(昨年度 10.3%)と増加している点あげられる。インターネットは、匿名で必要な時にすぐに情報が手に入る方法として、SW のニーズにあっていいると考えられるが、近年のインターネット利用人口の増加にともない、より便利な方法として需要が増していることが四さされた。

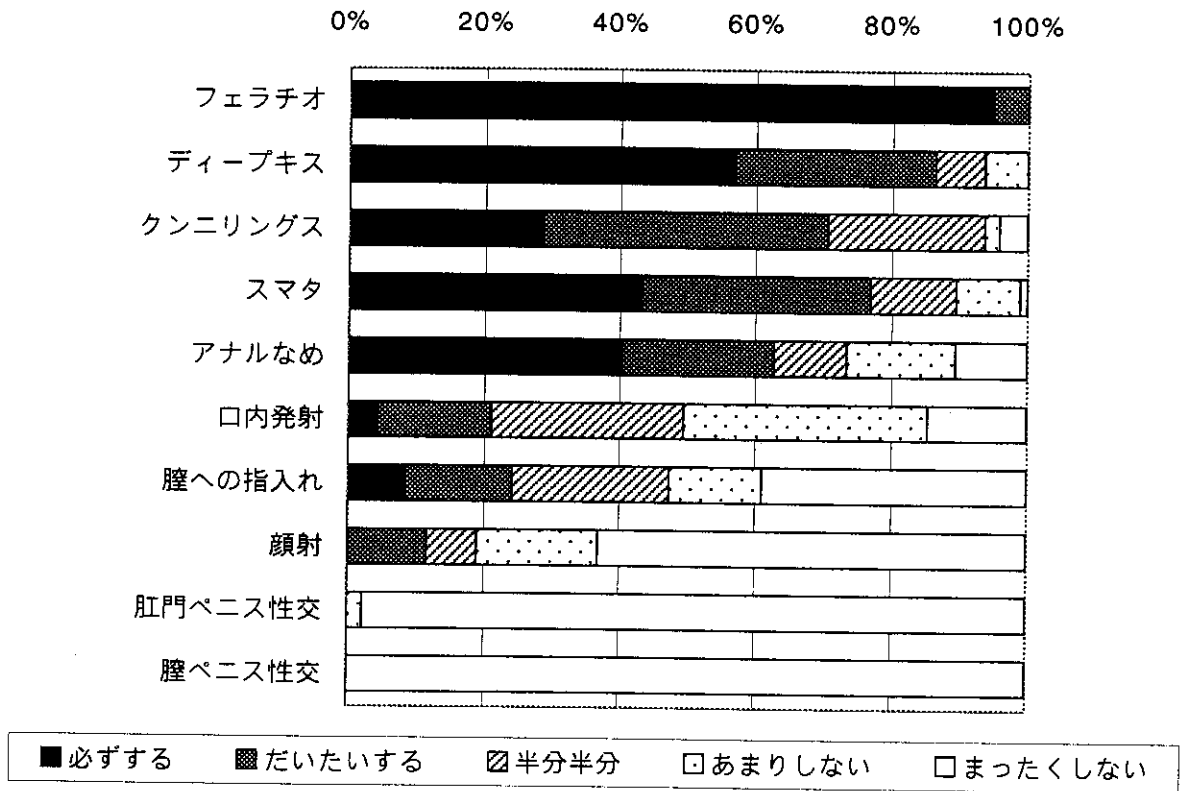
希望する場所は、「働いている店」が 71.4 ともっとも多く、ついで「病院」46.4%、薬局 33.3%があげられた(図 15)。

#### まとめ:

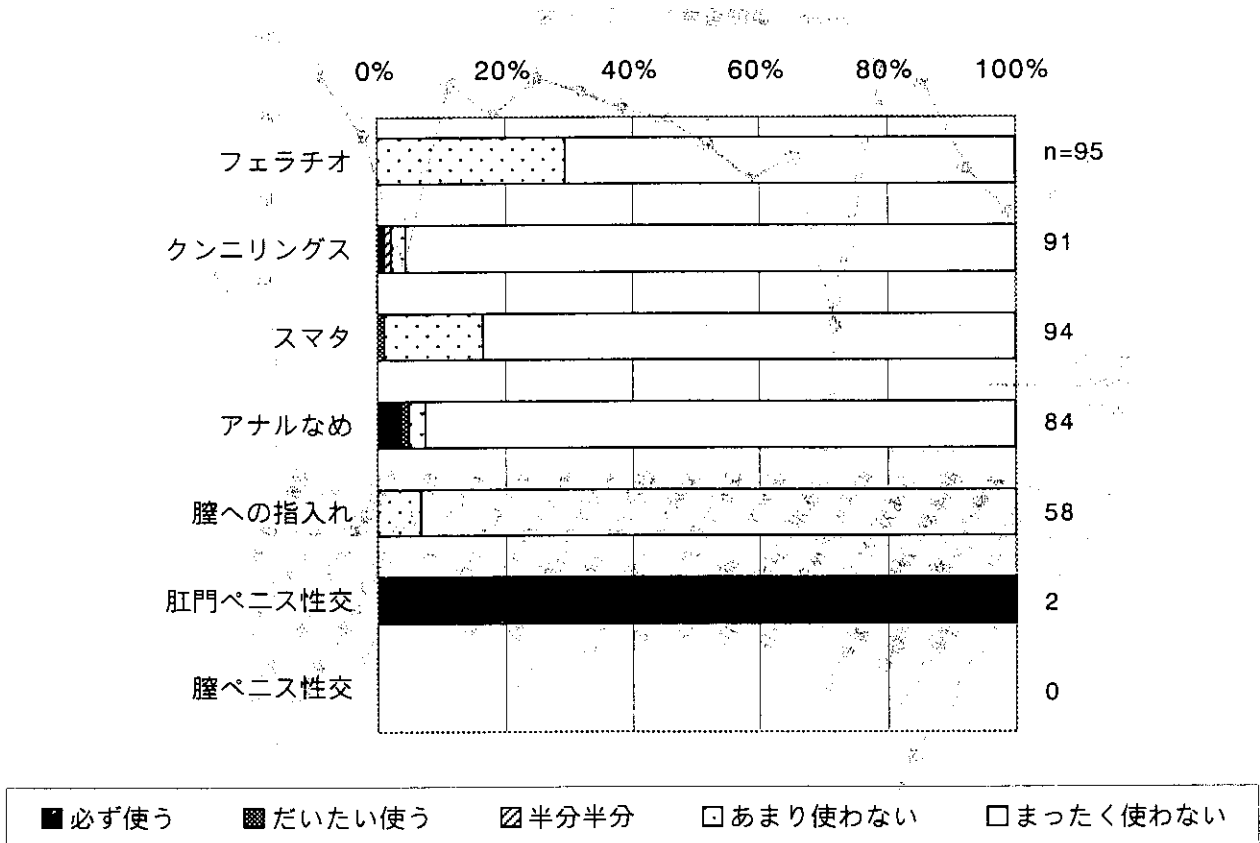
今回の調査は昨年度の結果をうけた本調査である。昨年度とほぼ同様に、日本の非ホンバン産業の主な職種であるヘルスで働くセックスワーカーは性感染症について知識が高く、予防方法の実践など感染予防への意識も高いことがわかった。また、ピアエデュケーションや、客、経営者、従業員を通しての相互の情報流通が、予防介入の経路として示唆された。一方で、具体的な感染予防法についての情報の不足から、間違った情報が流れやすい状況であることもわかった。また、コンドーム使用への具体的な交渉法が得られたり、インターネットの有効性が示されるなど、今後の予防介入の方法を考えるうえで重要な示唆が得られた。



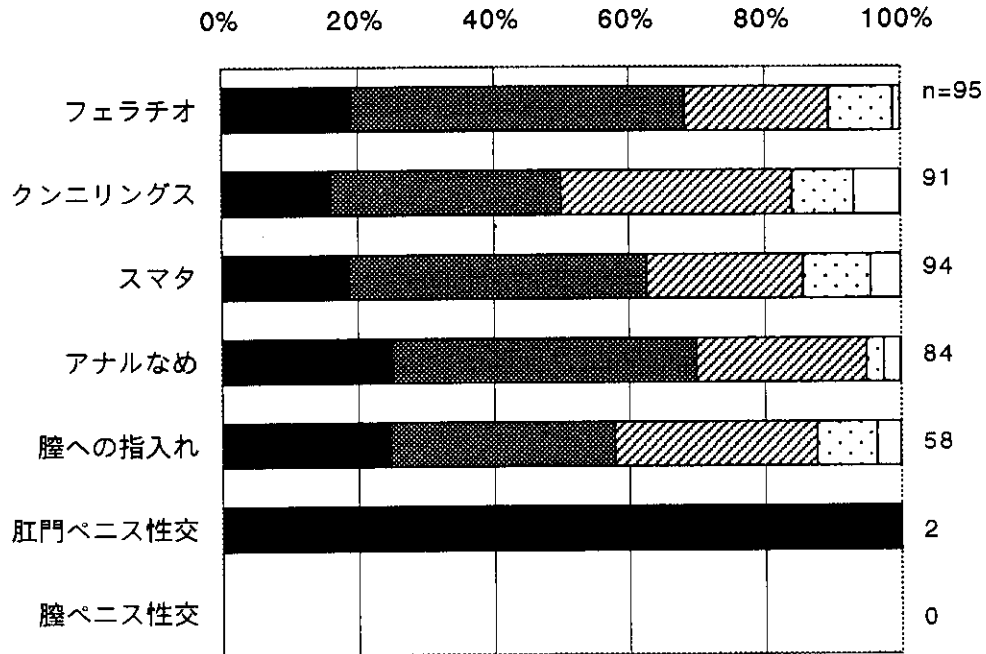
〈図3〉 サービス内容と頻度 (n=95)



〈図4〉 コンドーム (膜状のバリア) 使用状況

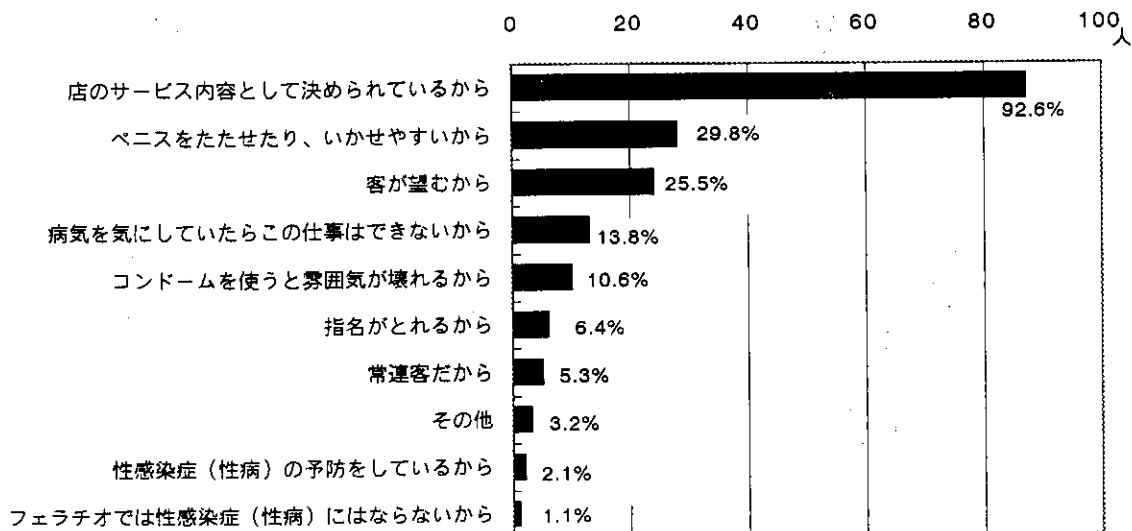


〈図5〉コンドーム使用への希望

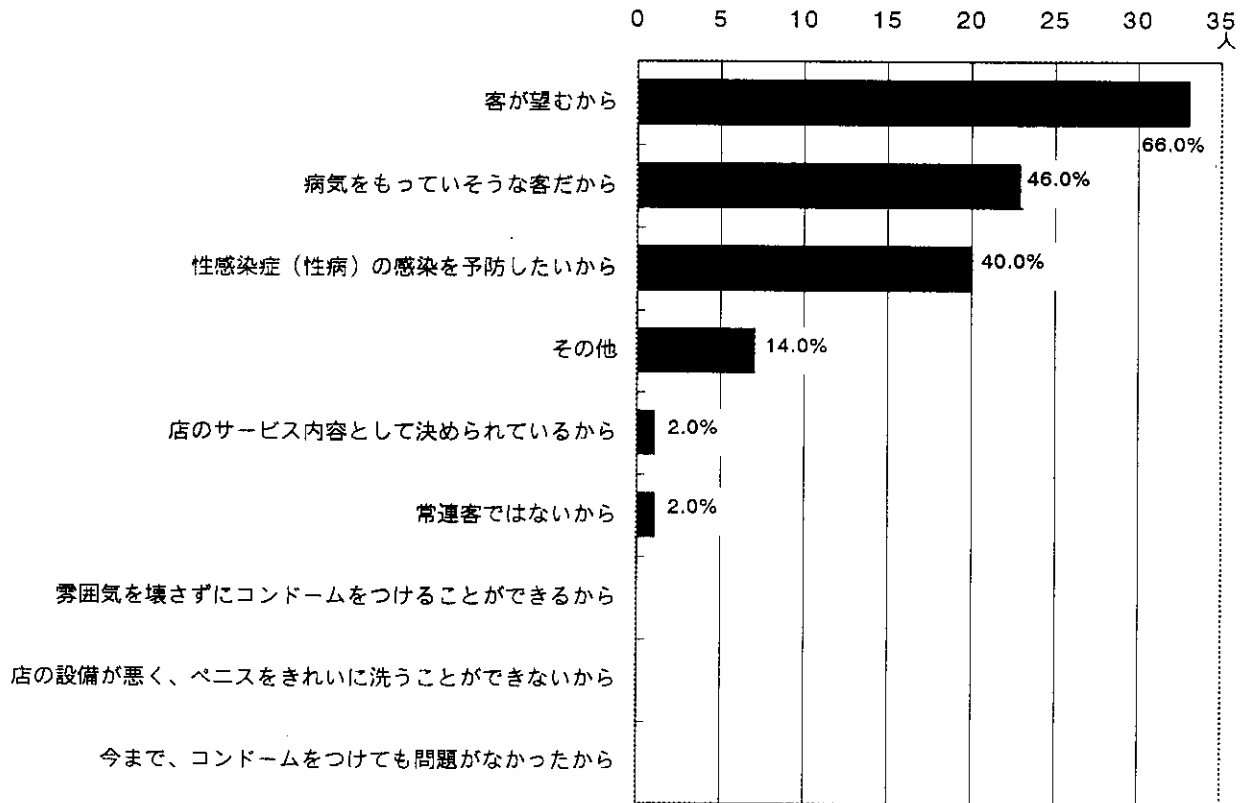


■ 必ずつけたい   ■ できればつけたい   ▨ どちらでもない   ▩ あまりつけたくない   □ まったくつけたくない

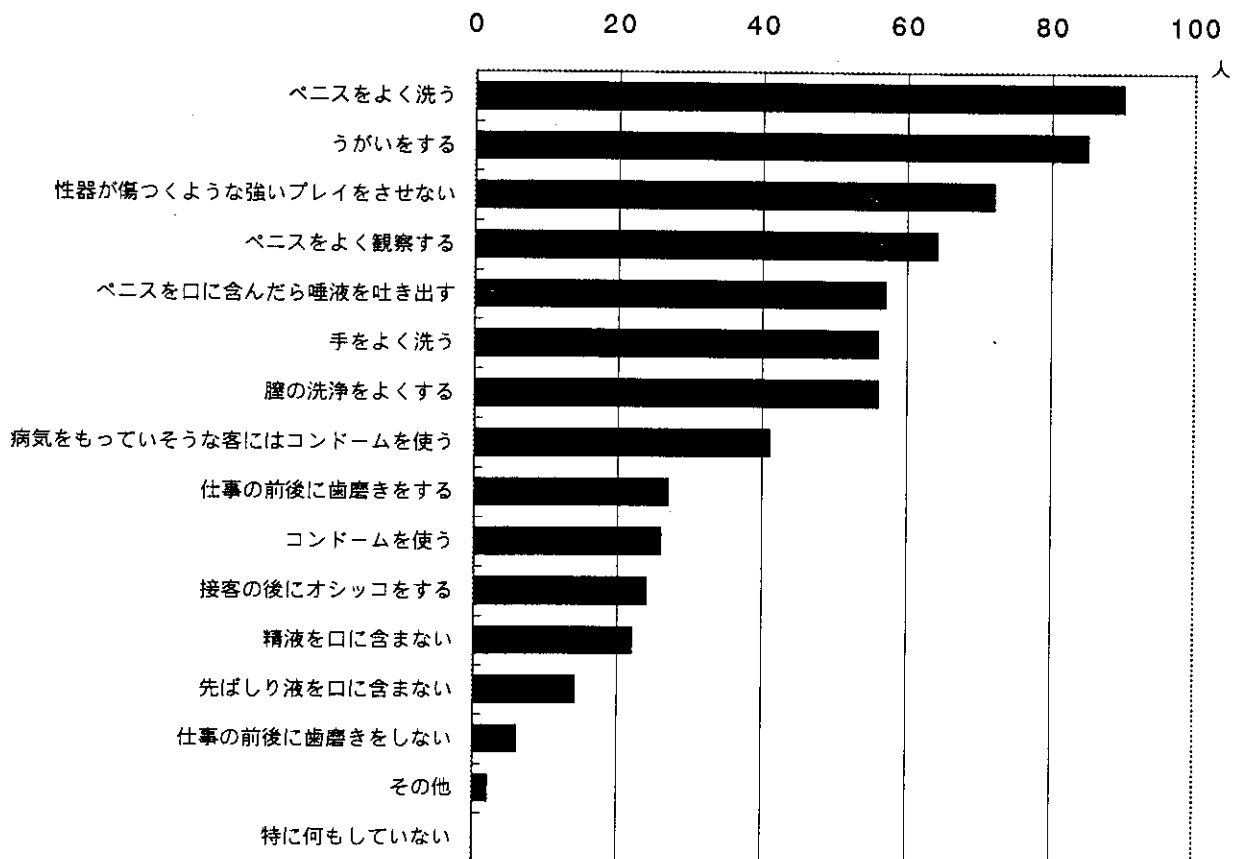
〈図6〉フェラチオでコンドームを使わない（使えない）理由（複数回答、n=94）



〈図7〉フェラチオでコンドームを使う理由（複数回答、n=50）

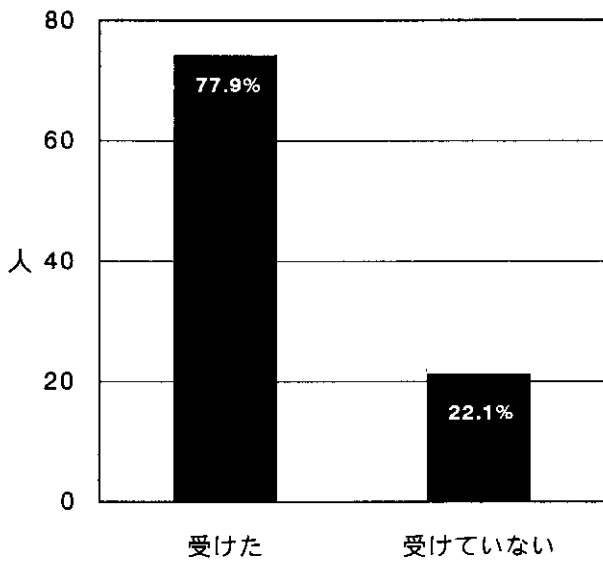


〈図8〉性感染症予防法（複数回答：n=95）

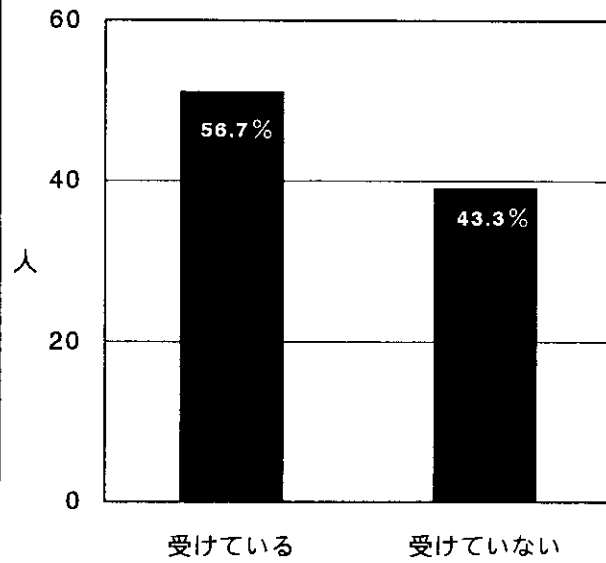




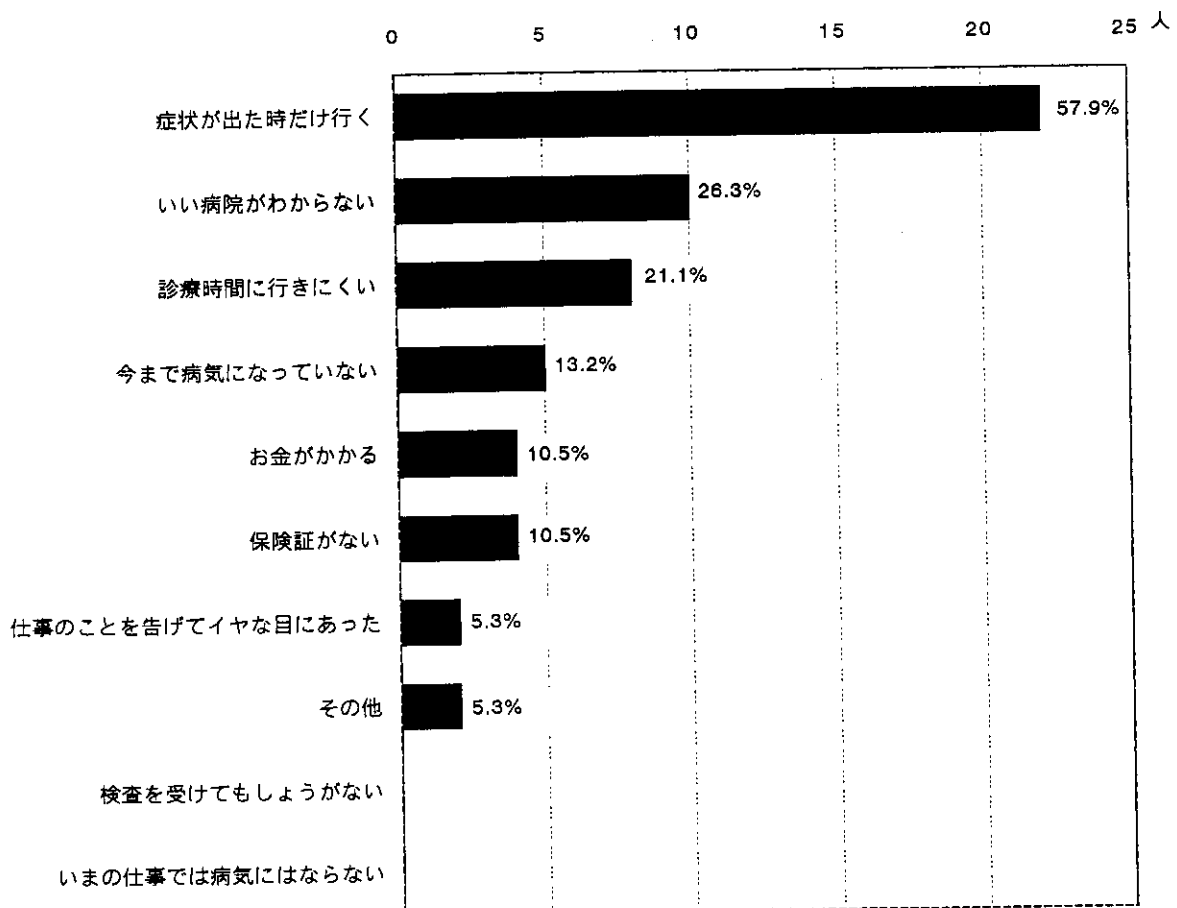
〈図9〉過去1年間のSTD検査  
(n=95)



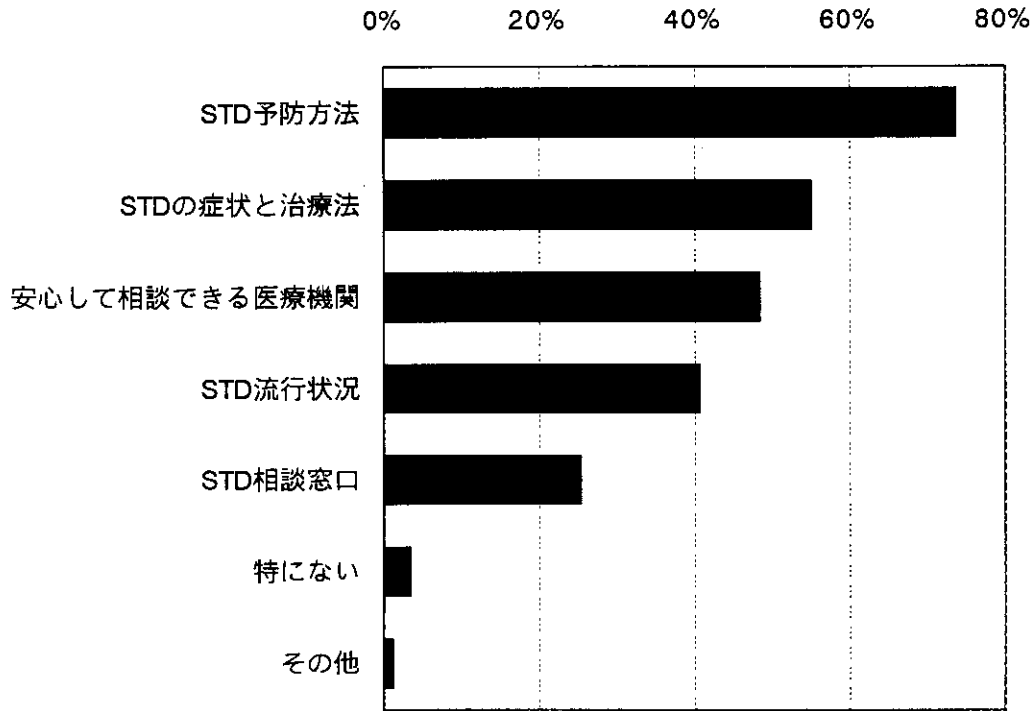
〈図10〉STDの定期検査 (n=90)



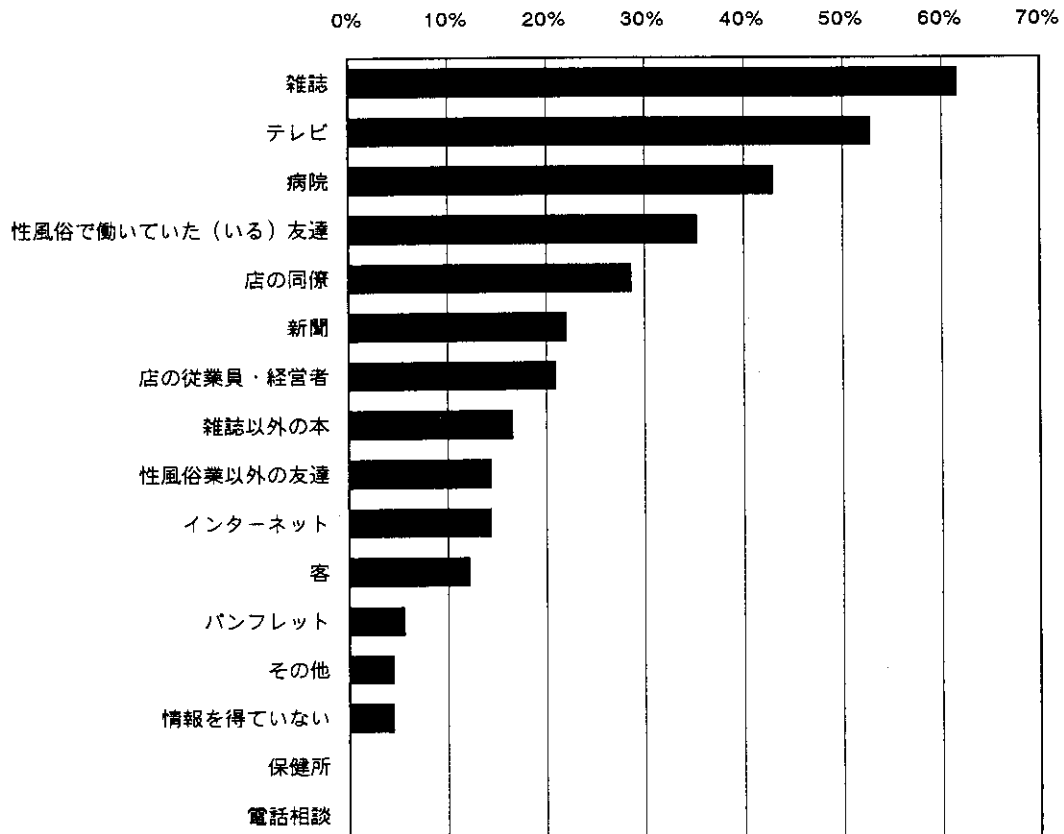
〈図11〉定期検査を受けない理由 (複数回答、n=38)



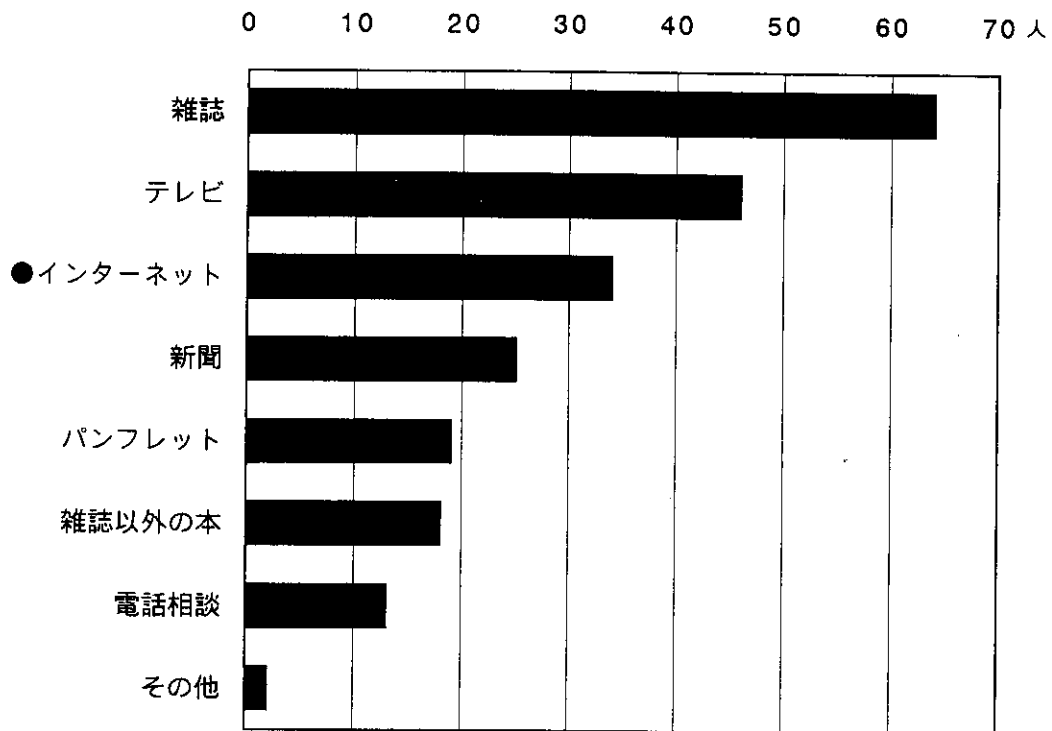
〈図12〉 HIV/STDについて欲しい情報（複数回答；n=91）



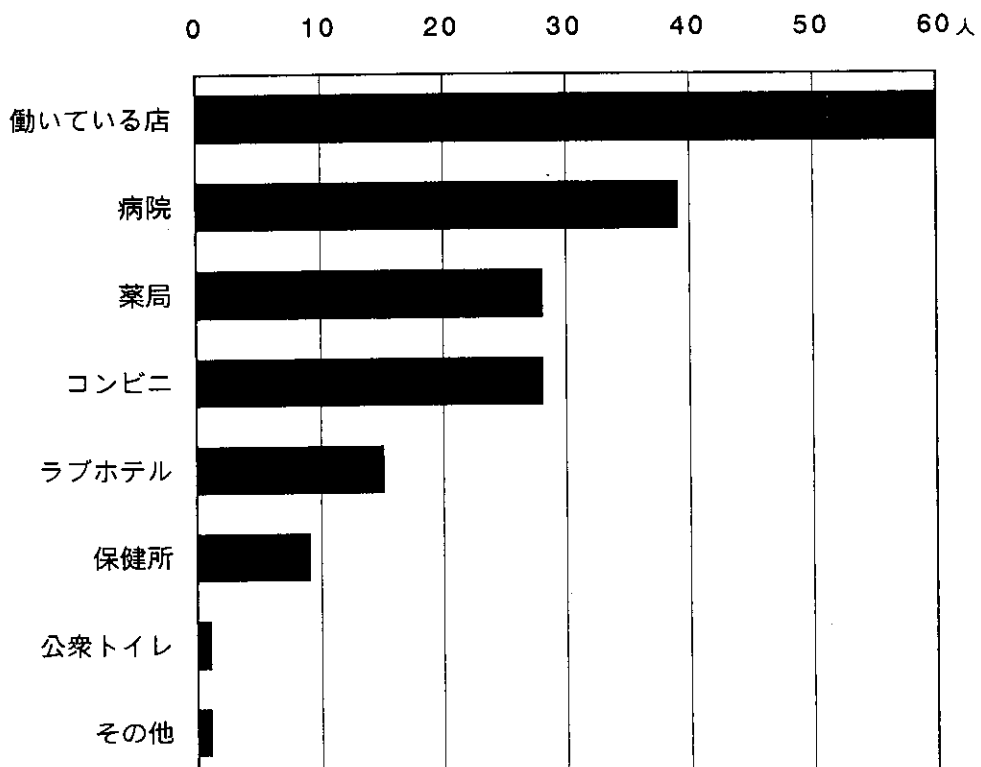
〈図13〉 情報入手先（複数回答；n=91）



〈図14〉 情報を得るのに便利な方法（複数回答；n=89）



〈図15〉 情報を得るのに便利な場所（複数回答；n=84）



### III セックスワーカーの STD 勉強会

担当班員：桃河モモコ、沢田司、水島希

協力：FISH(Fuzoku-workers Invite to Sexual Health)

**目的：**セックスワーカー (SW) による SW のためのより効果的な STD 予防介入の方法の開発。  
SW どうし及び専門家を交えた情報共有の場として「STD 勉強会」を定期的で開催する。「STD 勉強会」は、質問紙による量的調査だけでは得られない質的なベースライン把握の場として位置付けられる。

**背景：**SW へのより効果的な予防介入の方法の開発のため、SWASH メンバーと有志の SW とで、STD 勉強会運営のためのグループ FISH(Fuzoku-workers Invite to Sexual Health)を立ち上げた。SWASH が、性風俗産業を構成する SW ・顧客・性風俗店経営者の三者を予防介入のターゲットとするのに対し、FISH は SW のみを対象としたグループである。FISH は SW による SW のための勉強会を担当する。

#### 結果：

##### 〈FISH の活動の歩み〉

2000 年 6-9 月：STD 勉強会の準備会 6 回（協力者や協力店舗との会合）。

2000 年 10-11 月：ファシリテータートレーニング 4 回。

12 月：準備会 6 回。勉強会の名称 (FISH)、開催場所、連絡体制 (携帯の契約) を決定。ホームページの作成を検討、勉強会の具体的な内容を検討。無料チケットを手作りして配付。勉強会会場にて準備会を開催、等。

2001 年 1 月：第 1 回勉強会のための準備会 2 回。  
勉強会の後、反省会 1 回。

1 月 15 日第 1 回 STD 勉強会を開催 (参加 10 名)。

2 月：スタッフ会議 2 回。勉強会準備会 1 回。

2 月 15 日第 2 回 STD 勉強会を開催 (参加 7 名)

現在は「勉強会」を月に 1 回、「運営準備会」を月に 1～2 回開催している。

##### 〈運営準備会での検討事項〉

●SW のニーズに答えるために必要だと予測された条件；

・ STD に関する知識と具体的な対応策が得られること。

・必要ときに専門家のアドバイスが得られること。

・プライバシー (一般に、顧客に、店に、家族/友人に、など) が守られること。

・仕事に関するカムアウト (様々なレベルで) ができ、それが受け入れられること。

●これらの条件を満たすために必要だと考えられ、検討した事項：

・運営方法 (ファシリテーターの育成、情報伝達方法やプログラムの開発など)。

・参加者のリクルートについて (現在は口コミ、案内状の手渡しのみ)。

・専門家への協力要請。

・SW にとって便利な勉強会開催場所の確保。

・参加者のプライバシー、職種の開示について。

・性別 (現在は女子のみでスタート) について。

・場所の所有者（店舗、友人など）への協力要請。

#### 〈実施した勉強会のテーマと内容〉

第一回（1/15 開催、参加者 10 名）：

テーマ：STD 基礎知識

ファシリテーター 2 名。参加者が自分が知っている性感染症の名前をあげ、それぞれの感染経路を確認。その際に、参加者本人や同僚の感染経験などが話された。また「予防グッズ」コーナーとして実際にコンドームやイソジンを用意し、コンドームの口での付け方やフェラチオの際に気をつけていることなど、仕事の際の STD 感染予防の具体的な技術が話された。

専門家の参加：なし

参加者による評価：同じ職種の人どうしの経験共有がおもしろかった。違う職種の人の話が聞きたかった。

\*ファシリテーターは自己紹介を求めなかったため、参加者の職種・名前はとりたてては開示することはなく、個々の話の中で開示されることが多かった。

第二回（2/15 開催、参加者 7 名）：

テーマ：STD をめぐる不安と、その解消

ファシリテーター 2 名。参加者が仕事上の STD 感染の可能性等について、仕事を始めたころに不安だったこと、それは今ではどのように変化したか／していないか、そのきっかけや理由の 3 点を紙に記入し、それぞれが順番に模造紙に貼って現在そのことについて解決／未解決、納得／未納得などどのようにみなしているかを座標提示しあうというワークショップを試みた。

また、前回の勉強会で未解決だったことのうち、「肝炎」についてファシリテーターが調べてきたことを発表した。

専門家の参加：なし。

\*お互いにその場で使う自分の名前の名札を付けた。職種についてはファシリテーターがまず開示し、参加者に対しては開示を要求しなかったが、個々の話の中で必要があつて開示する人もいた。

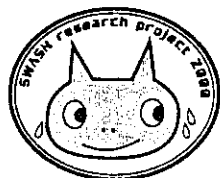
#### 課題と展望：

結果に見られるように、勉強会第一回目は参加者の職種が明らかに去れない状態で行われた。しかし、たとえば「私は生フェラはしない」という発言を、誰がするか（ヘルス従事者が行うか、ソープ従事者が行うか、など）によって含まれる情報内容が異なるため、職種を開示したほうがより具体的な情報を交換出来るのではないかと考えられる。その意味で参加者が安心して職種などを開示できる状況を今後作って行く必要がある。また、FISH メンバーには男性 SW もいるが、参加者の互いの話しやすさを考慮して現在は女性 SW に限定している。今後は、数カ月に一回男性 SW のみ、あるいは混合参加の回を設定することを検討中である。

SW の STD 勉強会は、ピア・エデュケーションの場として、また SW どうしが仕事や STD について安心して話しあえる場としても多様な可能性を持つ。しかし SW のニーズに基づいた優先順位は、まだ明らかでは無い。SW のニーズをだれがどうとらえるのか、そしてそのうち FISH はどの部分に答えるのかを明らかにする必要がある。ニーズアセスメントと優先順位の選択において、SWASH の他の調査／研究といかに有機的な連携やフィードバックができるかということが今後の課題である。

★テレホンカードは回答して下さった方へのお礼です。  
お受け取りください。

★回答後は、アンケート用紙の点線部分にシールをはって  
中が見えないようにしてください。そのあと、アンケート  
用紙が入っていた封筒に入れ、必ず封をしてポストに  
投函してください。



## 労働状況アンケート 2000

回答後、シールで  
封をしてね。

**SWASH**は、自分たちの労働環境をよりよいものにしようと考えて  
いる風俗嬢たちが中心となって作ったグループです。このアンケート  
は**SWASH**が厚生省と共同で行なうもので、性風俗産業で健康に働く  
ためには何が必要かを知るのが目的です。

といっても、職種や地域、お店によって働く環境は違いますし、個  
々人の感じ方も違います。私たちはこの調査を通して、ひとりひとりの  
働いている状況や、問題だと思っていることを聞き、その上で、こ  
の問題に取り組んでいきたいと考えています。

内容上、答えにくいこともあるかもしれませんが、以上の趣旨をご  
理解の上、ぜひご協力ください。

回答後、シールで  
封をしてね。

\*アンケートの記入方法は次のページです。

**SWASH** リサーチ担当 水島 希

●このアンケートおよび**SWASH**についての質問は下記へご連絡ください。

〒600-8056 京都市下京区高辻通麩屋町西入雁金町171番  
山一ビルB-214号 **SWASH** (スウォッシュ)

電話：京都 075-751-7281 (受付時間：火・木・土曜の午後1時～午後8時)  
東京 090-2730-6365 (いつでもOK)

●このアンケートに関する質問は下記でも  
受け付けています。

〒852-8523 長崎市坂本1-12-4  
長崎大学医学部感染分子  
木原 雅子  
電話：095-849-7059

## ★アンケートの記入および郵送方法について★

### (1) プライバシーの保護について

アンケートは記入が終わったら、お名前を書かずに自分で封をし、郵送していただきます。誰が書いたかは分からないようになっていきますので、個人情報漏れる心配はありません。また、回答の内容は調査以外に使われることはありませんし、調査者以外が内容を見ることはありませんので、安心してお答え下さい。

### (2) 記入方法について

- ① 回答するときは、設問の順序に従って質問をよく読み、記入して下さい。
- ② もし、間違えて答えて、訂正したい場合は、二重線で消してから書き直して下さい。

- (例) 1  そう思う  
2  そう思わない  
3  わからない

### (3) 郵送方法について

ご記入が終わりましたら、同封のシールで表紙をはりあわせて下さい。そのアンケートを自分で封に入れ、封筒をのりかテープで閉じて下さい。差出人の名前や住所は必要ありません。閉じた封筒は、なるべく早くポストに投函して下さい。

アンケート用紙は 月 日までにお送り下さい。

### (4) 調査結果について

今回の調査結果（来年4月頃完成予定）をご希望の方は、下記のSWASH（スウォッシュ）までご連絡下さい。調査結果を郵送いたします。

### (5) 性感染症予防パンフレットについて

今回の調査結果をもとに、性風俗産業で働く人のための『性感染症予防パンフレット』を作って、調査したお店などで配布する予定です。もし、個人的に送って欲しい方は、下記のSWASH（スウォッシュ）までご連絡下さい。

#### ★調査結果・パンフレット請求先★

〒600-8056 京都市下京区高辻通麩屋町西入雁金町171番  
山一ビル8-214号 **SWASH**（スウォッシュ）

電話：京都 075-751-7281（受付時間：火・木・土曜の午後1時～午後8時）  
東京 090-2730-6365（いつでもOK）

■まず、はじめにあなたご自身のことについておききます。

問1. 現在、あなたは何才ですか。  歳

問2. 現在、働いている職種にあてはまるに全て○をつけてください。(○はいくつでも)  
複数の場合は、そのうち、主に働いているものにひとつだけ◎をつけて下さい。

- 1  ヘルス・ファッションマッサージ・イメクラ
- 2  ソープランド
- 3  ピンクサロン
- 4  遊郭、料亭、ちよんのみ
- 5  抜きキャバレー
- 6  性感エステ (韓国式、台湾式、アロマなど)
- 7  SMクラブ
- 8  出張マッサージ
- 9  ホテル
- 10  街娯、たちんぼ
- 11  デートクラブ
- 12  その他 ( )

これから先の質問には、主に働いている店・職種についてお答え下さい

問3. 今のところで働いてどのくらいになりますか(途中休んでいた期間は含めません)。

2つ以上の店や職種で働いている場合は、アンケート調査が配られたお店のことを書いてください。  
病院などで配られた方は、主に働いているお店について書いて下さい。

年  ヶ月

問4. あなたは、1ヶ月あたり何日間くらい働きますか。 1ヶ月に  日間くらい

問5. 仕事の日には、1日あたり何時間くらい働きますか。 1日に  時間くらい

問6. 仕事の日には、1日あたり何人くらいのお客がありますか。 1日に  人くらい

問7. 接客の時間はお客一人あたりどのくらいですか。

一人あたり  時間  分くらい

問8. あなたは、お客がついていないときはどのようにして過ごしますか。

- 1  店でひとりで
- 2  店で同僚と
- 3  その他 ( )



問9. 次のもののうち、お店で用意しているものがありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1  客を洗うためのシャワー
- 2  自分が使えるシャワー
- 3  ビデ（ウォシュレットなど）
- 4  コンドーム
- 5  うがい薬（イソジンなど）
- 6  石けん
- 7  お店側は、これらのものを用意していない
- 8  お店では働いていない

問10. 現在あなたはピル（経口避妊薬）を使用していますか。

- 1  はい                      2  いいえ

問11. 今のところで働く前に、性風俗産業で働いていたことがありますか。

- 1  ある                      2  ない

問12に進む

付問1. それはどのような職種でしたか。あてはまるものに○をつけて下さい。

- 1  ヘルス、ファッションマッサー、イメクラ
- 2  ソープランド
- 3  ピンクサロン
- 4  遊郭、料亭、ちよんのま
- 5  抜きキャバレー
- 6  性感エステ（韓国式、台湾式、アロマなど）
- 7  SMクラブ
- 8  出張マッサージ
- 9  ホテル
- 10  街娼、たちんぼ
- 11  デートクラブ
- 12  その他（                      ）

問12. これまで、今の仕事も含めて、風俗関連産業で合計どのくらいの期間働いていますか。

（途中休んでいた期間は含めません）

年     ヶ月

■つぎに仕事のやりがいについておきぎします

問 13. 今の仕事にやりがいを感じますか。あてはまるものをひとつ○をつけて下さい。

- 1  大いに感じる
- 2  まあ感じる
- 3  どちらともいえない
- 4  あまり感じない
- 5  まったく感じない

問 14. 性風俗産業で働くことの良い点は何ですか。あてはまるものに、3つまで○をつけて下さい。

- 1  収入がよい
- 2  接客のやりがいがある
- 3  人間関係が楽である
- 4  自分の都合に合わせた仕事の時間を選びやすい
- 5  自立できる
- 6  自分に自信がもてる
- 7  その他 ( )

問 15. 性風俗産業で働くことの悪い点は何ですか。あてはまるものに、3つまで○をつけて下さい。

- 1  収入がよくない
- 2  接客のやりがいがない
- 3  人間関係がむずかしい
- 4  自分の都合に合わせた仕事の時間を選びにくい
- 5  将来に不安がある
- 6  自分に自信がもてない
- 7  世間の評価が低い
- 8  その他 ( )

問 16. 店や客に対して、もしこうなればもっと働きやすいと思うこと(希望・要求)があれば書いて下さい。

■ 次に仕事の内容についておききします。

問 17. あなたの『サービス内容』、『コンドーム使用状況』、『コンドーム使用希望』についておききします。それぞれのサービスごとにあてはまるものに○をして下さい。質問には番号順にお答え下さい。

(1) ディープキス

(サービス内容)

- 1  必ずする
- 2  だいたいする
- 3  半分半分
- 4  あまりしない
- 5  まったくしない

(2) 顔射

(サービス内容)

- 1  必ずする
- 2  だいたいする
- 3  半分半分
- 4  あまりしない
- 5  まったくしない

(3) 口内発射

(サービス内容)

- 1  必ずする
- 2  だいたいする
- 3  半分半分
- 4  あまりしない
- 5  まったくしない

(4) フェラチオ

(サービス内容)

- 1  必ずする
- 2  だいたいする
- 3  半分半分
- 4  あまりしない
- 5  まったくしない

(コンドームを使いますか?)

- 1  必ず使う
- 2  だいたい使う
- 3  半分くらい使う
- 4  あまり使わない
- 5  まったく使わない

(コンドームを使いたいですか?)

- 1  必ずつけたい
- 2  できればつけたい
- 3  どちらでもない
- 4  あまりつけたくない
- 5  まったくつけたくない

(5) 膣(ちつ)への指入れ

(サービス内容)

- 1  必ずする
- 2  だいたいする
- 3  半分半分
- 4  あまりしない
- 5  まったくしない

(コンドームを使いますか?)

- 1  必ず使う
- 2  だいたい使う
- 3  半分くらい使う
- 4  あまり使わない
- 5  まったく使わない

(コンドームを使いたいですか?)

- 1  必ずつけたい
- 2  できればつけたい
- 3  どちらでもない
- 4  あまりつけたくない
- 5  まったくつけたくない

(6) スマタ

(サービス内容)

- 1  必ずする
- 2  だいたいする
- 3  半分半分
- 4  あまりしない
- 5  まったくしない

(コンドームを使いますか?)

- 1  必ず使う
- 2  だいたい使う
- 3  半分くらい使う
- 4  あまり使わない
- 5  まったく使わない

(コンドームを使いたいですか?)

- 1  必ずつけたい
- 2  できればつけたい
- 3  どちらでもない
- 4  あまりつけたくない
- 5  まったくつけたくない

(7) 膣(ちつ)ペニス性交 (ホンバン)

(サービス内容)

- 1  必ずする
- 2  だいたいする
- 3  半分半分
- 4  あまりしない
- 5  まったくしない

(コンドームを使いますか?)

- 1  必ず使う
- 2  だいたい使う
- 3  半分くらい使う
- 4  あまり使わない
- 5  まったく使わない

(コンドームを使いたいですか?)

- 1  必ずつけたい
- 2  できればつけたい
- 3  どちらでもない
- 4  あまりつけたくない
- 5  まったくつけたくない

(8) 肛門ペニス性交 (アナルファック)

(サービス内容)

- 1  必ずする
- 2  だいたいする
- 3  半分半分
- 4  あまりしない
- 5  まったくしない

(コンドームを使いますか?)

- 1  必ず使う
- 2  だいたい使う
- 3  半分くらい使う
- 4  あまり使わない
- 5  まったく使わない

(コンドームを使いたいですか?)

- 1  必ずつけたい
- 2  できればつけたい
- 3  どちらでもない
- 4  あまりつけたくない
- 5  まったくつけたくない

(9) アナルなめ

(ただし、アナルなめに関しては、コンドームを切って使用する、または、サランラップやデンタル・ダムなどの膜状のものの使用を含みます。)

(サービス内容)

- 1  必ずする
- 2  だいたいする
- 3  半分半分
- 4  あまりしない
- 5  まったくしない

(膜状のものを使いますか?)

- 1  必ず使う
- 2  だいたい使う
- 3  半分くらい使う
- 4  あまり使わない
- 5  まったく使わない

(膜状のものを使いたいですか?)

- 1  必ずつけたい
- 2  できればつけたい
- 3  どちらでもない
- 4  あまりつけたくない
- 5  まったくつけたくない

(10) クニリングス (クニ) (マンコなめ)

(ただし、クニリングスに関しては、コンドームを切って使用する、または、サランラップやデンタル・ダムなどの膜状のものの使用を含みます。)

(サービス内容)

- 1  必ずする
- 2  だいたいする
- 3  半分半分
- 4  あまりしない
- 5  まったくしない

(膜状のものを使いますか?)

- 1  必ず使う
- 2  だいたい使う
- 3  半分くらい使う
- 4  あまり使わない
- 5  まったく使わない

(膜状のものを使いたいですか?)

- 1  必ずつけたい
- 2  できればつけたい
- 3  どちらでもない
- 4  あまりつけたくない
- 5  まったくつけたくない